

## 再評価を実施する事業の一覧表(平成20年度第3回)

部局名: 県土整備部 道路事業

番号	事業名	事業主体種別	路線名・河川名等 事業箇所名	事業採択 年度	事業 経過 年数	再評価 の分類	対応方針 (案)	長期化又は未着工の理由	現状の課題	備考
124	国庫補助 道路改築事業	栃木県	一般国道293号 馬頭バイパス	平成11年度	10年	2	継続	特になし	特になし	
125	国庫補助 道路改築事業	栃木県	一般国道400号 中塩原バイパス	平成11年度	10年	2	継続	用地取得の遅れによる	残用地の取得	

注)再評価の分類

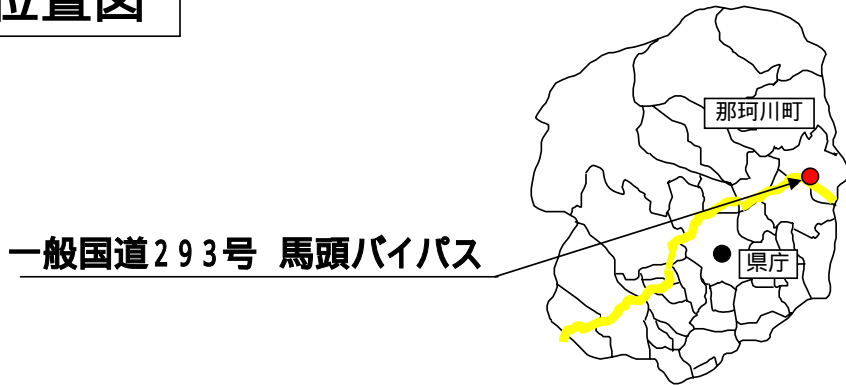
- 1 = 事業採択後一定期間を経過した時点で未着工の事業【実施要領: 第4-1-(1)】  
2 = 事業採択後長期間が経過した時点で継続中の事業【実施要領: 題4-1-(2)、第4-2-(1)、第4-3-(1)】  
3 = 準備・計画段階で一定期間が経過している事業【実施要領: 第4-1-(3)】  
4 = 再評価実施後一定期間が経過している事業【実施要領: 第4-1-(4)】  
5 = 社会経済情勢の急激な変化、技術革新等により再評価の実施の必要が生じた事業【実施要領: 第4-1-(5)、第4-2-(2)、第4-3-(2)】

## 再評価実施事業概要書

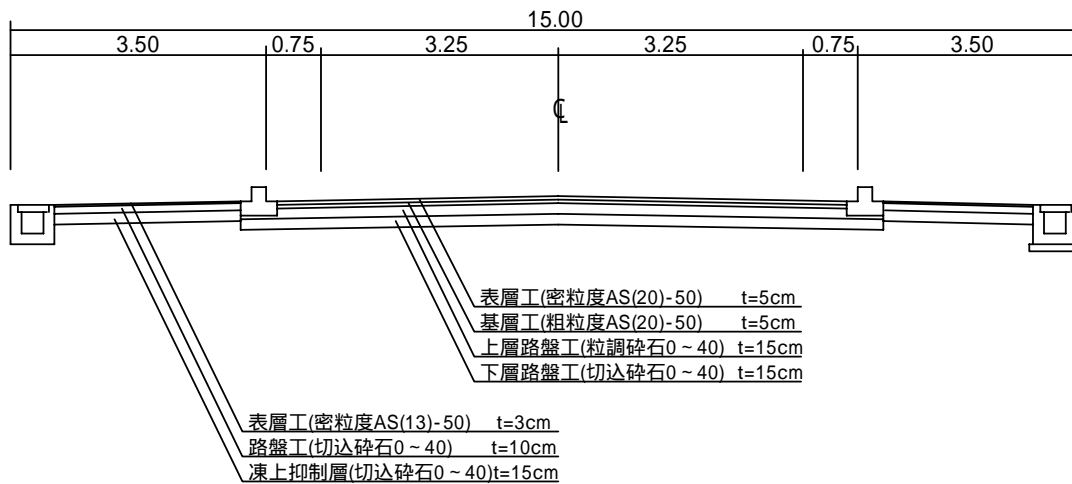
再評価実施事業概要書				番 号	1 2 4		
				事業主体	栃 木 県		
事業名	国庫補助 道路改築事業			事業所管部課	県土整備部 道路整備課		
路線名	一般国道293号			事業箇所名	那珂川町 馬頭バイパス		
起 終 点	自:那珂川町馬頭 至:那珂川町北向田			事業延長	2,860m		
事業採択年度	H11	用地着手年度	H12	工事着手年度	H14	部分供用年度	H16,17,19,20
事業期間	H11～H24		事業進捗 状 況	【平成20年度末予定】			
全体事業費	47.5億円			執行済事業費	30.6億円	進捗率	64%
うち用地補償費	27.8億円			うち用地補償費	18.0億円	進捗率	65%
事業の目的	<p>一般国道293号は茨城県日立市を起点とし栃木県足利市に至る延長約169kmの幹線道路であり、本県の中央部を横断する東西交通の根幹をなす路線である。</p> <p>しかしながら、計画区間の現道部は、車道幅員の狭小区間や屈曲部が多く交通の隘路となっていることや、付近に学校が立地しているにもかかわらず歩道が未整備であり、交通安全上、非常に危険な状況であることから、バイパスにより整備するものである。</p> <p>本バイパスを整備することにより、現道から通過交通を排除し、自転車及び歩行者の安全を確保するとともに、通過交通の円滑化と広域的な地域間交流の促進、地域間の連携や物流機能の強化、地域観光産業等の支援を図る。</p>						
事業の進捗状況等	<p>事業の進捗</p> <p>全体区間のうち、那珂川町馬頭地内から同地内の現道までの1期工区(L=1.90Km)については、平成20年7月までに整備を完了し完成供用を図った。</p> <p>残る区間の2期工区(L=0.96Km)については、用地取得を推進している。</p> <p>今後の予定</p> <p>本年度は用地取得を推進し、平成24年度に全線供用を図る。</p>						
コスト縮減等	<ul style="list-style-type: none"> <li>再生骨材、再生アスファルト合材を積極活用し社会的コストを低減</li> <li>当該工区の建設発生土を他工区盛土材に再利用し社会的コストを低減</li> </ul>						
費用対効果 分析の変化	全体事業(L=2.86Km)の費用便益			残事業(L=0.96Km)の費用便益			
	便益額(B)	131億円		便益額(B)	56億円		
	費用(C)	53億円		費用(C)	19億円		
	B/C	= 2.5		B/C	= 3.0		
事業の対応方針(案)	<ul style="list-style-type: none"> <li>現計画で事業を継続する。</li> </ul>						

# 事業箇所(位置図、概要図)

## 位置図



## 標準横断図



## 概要図

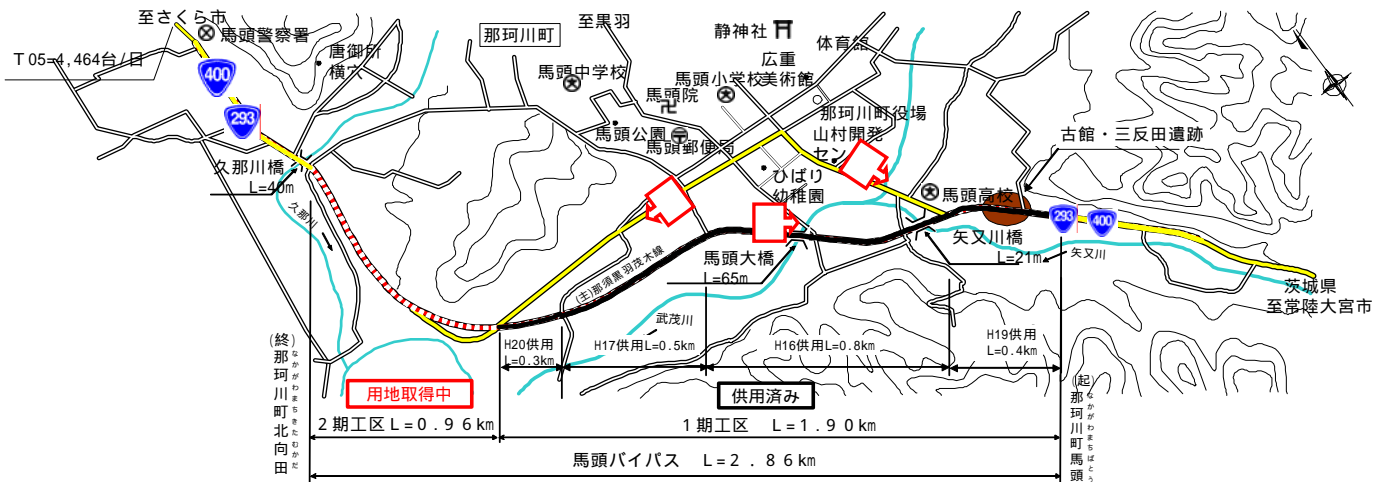




写真1：幅員狭小部



写真2：児童の通学状況



写真3：供用状況(1期工区)

## 再評価実施事業概要書

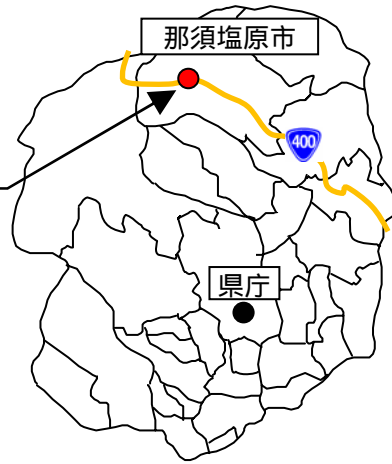
番 号	125
事業主体	栃 木 県

事業名	国庫補助 道路改築事業		事業所管部課	県土整備部 道路整備課	
路線名	一般国道400号		事業箇所名	那須塩原市 中塩原バイパス	
起 終 点	自:那須塩原市中塩原 至:那須塩原市上塩原		事業延長	1,580m	
事業採択年度	H11	用地着手年度	H12	工事着手年度	H15
				部分供用年度	-
事業期間	H11~H24		事業進捗	【平成20年度末予定】	
全体事業費	22.0億円		状況	執行済事業費	13.9億円 進捗率63%
うち用地補償費	5.6億円			うち用地補償費	5.0億円 進捗率89%
事業の目的	<p>一般国道400号は、茨城県水戸市を起点とし福島県西会津町に至る延長約230kmの幹線道路であり、本県の北部地域における東西交通の軸として、東北自動車縦貫道路の西那須野塩原ICに接続するなど重要な路線である。</p> <p>しかしながら、現道部は、道路幅員の狭小区間や屈曲部が多く交通の隘路となっていることから、特に観光シーズンには慢性的な交通渋滞が発生している。また、歩道整備が十分でないことから、特に塩原温泉中心街付近では、温泉客等の歩行者が危険な状況である。</p> <p>本バイパスを整備することにより、広域的な地域間交流の促進、地域間連携や物流機能の強化、県北部地域の地域観光産業支援や塩原温泉街の安全で円滑な交通を確保する。</p>				
事業の進捗状況等	<p>事業の進捗状況</p> <p>今年度末時点の用地補償費における取得率は89%の予定であり、引き続き用地取得に努める。</p> <p>今後の予定</p> <p>取得契約の完了した区間から順次工事を実施し、平成24年度内の完成供用に努める。</p>				
コスト縮減等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・建設発生土を盛土材に有効再利用し工事コストを低減</li> <li>・渡河部にボックスカルバートを採用し工事コストを低減</li> <li>・橋梁上部工に耐候性鋼材を使用しライフサイクルコストを低減</li> </ul>				
費用対効果分析の変化	全体事業(L=1.58km)の費用便益		残事業(L=1.58km)の費用便益		
	便益額(B) 35億円 費用(C) 25億円 $B/C = 1.4$		便益額(B) 35億円 費用(C) 9億円 $B/C = 3.9$		
事業の対応方針(案)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現計画で事業を継続する。</li> </ul>				

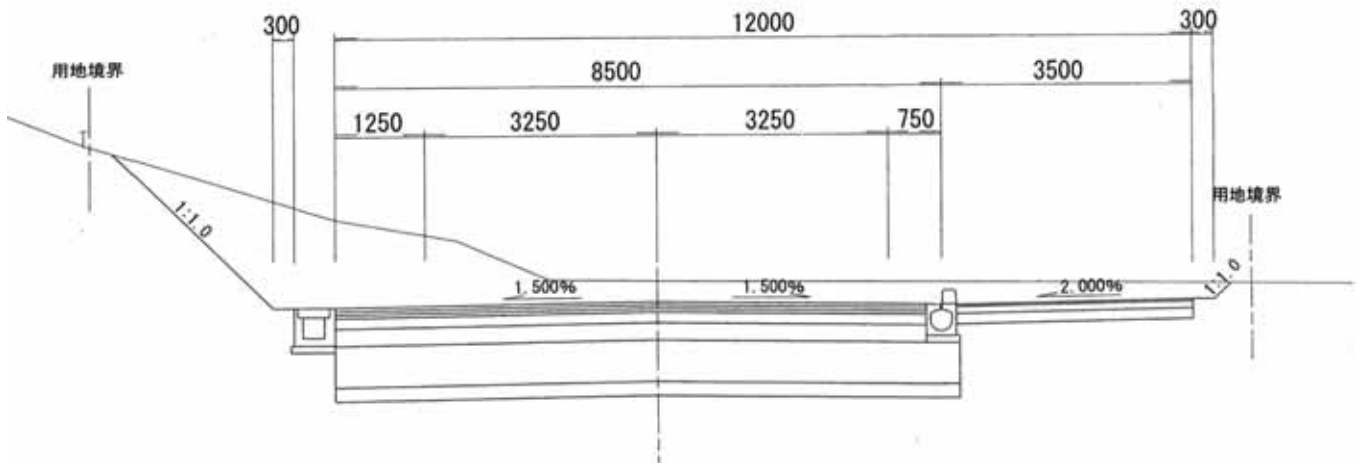
# 事業箇所(位置図、概要図)

## 位置図

一般国道400号 中塩原バイパス



## 標準横断図



## 概要図

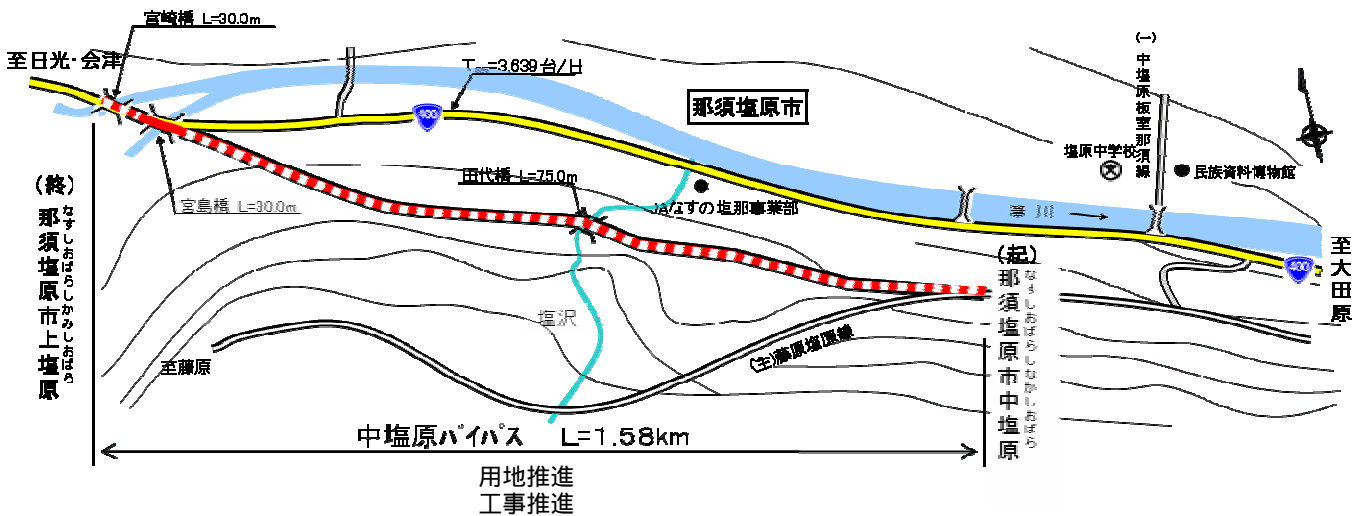






写真1: 現道の状況



写真2-1,2: 現道の状況



写真3: 温泉街の渋滞状況